

少しずつ進む 大阪のデフスポーツ・サポーター体制

8月30日(水)19時から21時まで大阪府立福祉情報コミュニケーションセンターで第6回目のデフスポーツ・サポーター委員会会議が開かれました。

2025年に東京で開催されるデフリンピックの準備と、それに伴うデフスポーツ・サポーター体制について(一財)全日本ろうあ連盟からいろいろな課題が下りてきています。大阪でも7月の会議で課題を達成するために担当を決定、手分けして準備を進めています。

1. 目標達成の状況

(1) デフスポーツ・サポーター会員
拡大状況《全ての個人、企業、
団体分》

対象	内容	目標数	達成状況	
個人会員	全ての個人 1口3,000円 3,000人目標	3,000	内部会員目標 1,000人	124
			外部会員目標 2,000人	
企業・法人等	企業(本社所在地) の1/3を基準とした 数字(1口10万円)			
民間団体	手話関係団体、 福祉関係団体等 5団体(1口3万円)		内部団体	1
			外部団体	

(2) デフスポーツ・サポーター会員 拡大状況《大聴協・大サ連・大 通研など内部団体分》

● 内部会員拡大目標達成状況

(2023年8月29日現在)

個人 目標数 1000人

達成数 124人

団体 1団体

ブロック別会員拡大達成状況

	ブロック名	目標数	達成状況
個人	大阪市	300	40
	北摂	150	18
	京阪	150	27
	河内	150	27
	泉州	250	12
合計		1,000	124
団体	京阪		1

(3) 各ブロックからの報告

① 大阪市ブロック

・各区会員、サ連、大通研会員に加入を呼びかけている。
・行事で「みんなのデフリンピック」を上映。84名が鑑賞した。

② 北摂ブロック

・各市で加入を呼びかけているがまだ数字が出ていない。
・「みんなのデフリンピック」上映に500円を取ることに「抵抗がある」との声。

③ 京阪ブロック

・各市で加入を呼びかけている。

・8月27日(日)に開かれた京阪三団体の研修会で、千葉さんと長宗さんからデフリンピック、デフスポーツ・サポーター制度について講演。その後、聞こえる人中心に10名ほどが加入してくれた。

④ 河内ブロック

・幹部研修会などで呼びかけをしている。

・八尾市で開かれた手話言語条例を策定するための集会に100名ほど参加。長宗さんの講演の後、デフサポーター制度へ入会を呼びかける。

・「みんなのデフリンピック」も少しずつ上映している。東大阪市では、市と上映について話し

合いを持った。

⑤ 泉州ブロック

・9月3日(日)に中塚さんの講演がある。そこで呼びかけていきたい。

⑥ 大通研

・ビラ等すべての会員に送り入会を呼びかけているが、まだ数字になっていない。

⑦ 大サ連

・ブロックサ連に話を下ろしている。

2. 各担当からの報告と討議

① 会社・団体訪問担当

・会社・団体訪問にあたり一番鍵になる事前のアポ取りについて、専従職員がいらない事で約束をとる事が出来ないので行動が始まっていない。

・専従職員(非常勤でも可)を雇わなければならぬが、そのためには10パーセントの還元金だけでは無理。以前から連盟に、少なくとも20パーセントの還元にして欲しいと言っているが決めてもらえない。最近、20パーセントにしても良いかなという話が出ているが、まだ確定していない。

・ろうあ者の働いている会社等のリストを先ずそろえ、訪問する

ことから始めては？

- ・スポーツ関係の団体等、訪問先を狭く考えないで、幅広い行動にしていく事で雰囲気盛り上げて、社会全体が応援しようという感じになるよう働きかける事が大事。
- ・テレビ、新聞社などのマスコミを動かす作戦もいる。

② イベント担当

- ・いろいろなイベントの場で「みんなのデフリンピック」を上映していく。
- ・大聴協の範囲だけでなく、他の障害者のイベントにも協力を呼びかけていく事が大事。市役所、教育関係等の上映は無料。このメリツトを活かす働きかけを。
- ・デフリンピックグッズの販売も、雰囲気盛り上げていく手段にする。
- ・みみの日記念大会、チャリティ公演等を利用したPR・販売・入会を工夫していきたい。
- ・2024年の5月にマラソン大会をする事も考えている。
- ・9月16日(土)、大阪三団体役員向けの「みんなのデフリンピック」上映会実施。
- ・10月29日(日)の大阪手話フォーラムでデフスポーツのテーマで講演。
- ・スポーツクラブ委員会と連携して活動範囲を広げていきたい。
- ・11月18日(土) ビッグ・アイで開催される「共に生きる障害者展」で、

デフリンピック関係のパネル11枚を展示、「みんなのデフリンピック」上映をする。

③ 宣伝担当

- ・ろうあ大阪9月号に「大阪でフスポーツ・サポーター委員会だよりNo.2」を載せた。今日の会議の様子は10月号に載せる予定。
- ・「デフリンピック、デフサポーター制度について、よく分からないので説明を聞きたい」との声があるので、学習会等に講師を派遣する。(講師は大阪デフスポーツ・サポーター委員会の全員が当たる。講師には交通費のみ払い、ボランティアでお願いする事に。) 講師派遣申込書を作ったので呼びかける。講演資料は統一の必要があるので、前から講演している人の意見等聞きながら磯野さんが案を作成。
- ・YouTube等で説明も流す。内容は学習会の様子を撮影したものを流す。(これについては、制作過程で少し検討が必要)
- ・大阪の動き、全国の動きを広く知らせるためにSNSの発信を重視。当面大聴協ホームページ等既存のものを活用しながら、X(旧ツイッター)、フェイスブック等も活用できるようにしていく。そのための原稿作成担当、確認担当等発信までの経路の確認を行った。

④ 会計担当

- ・集まってきた会費は連盟に振り込んでいる。
- ・振込手数料が440円で、集まった金額に比べ比率が高い。ある程度まとまってから振り込むなど工夫して、その時々の実数報告のやり方は連盟と相談。

3. その他

- ・各担当の考えている計画の適切、迅速な進行を図る事。
- ・世論、関係団体を広く巻き込むような大きな構えで取り組む事。
- ・行政の力を上手く利用する事を考える。(例えば、障害者の日のイベントに企画を持ち込み一緒にやってもらうとか)



会議前に「みんなのデフリンピック」を鑑賞

- ・9月1日(金)、大竹浩司会長が長居障がい者スポーツセンターへデフリンピックポスター、紹介パンフレット、デフスポーツ・サポーター制度チラシを持参して訪問。担当者からはデフスポーツの発展を協力していただける話でした。紹介パンフレットを入り口に置いたところ、すぐ持っていかれたと話がありました。
- ・9月7日(木)、廣田しづえ副会長が舞洲障がい者スポーツセンターへデフリンピックポスター、紹介パンフレット、デフスポーツ・サポーター制度チラシを持参して訪問しました。担当者はセンターのホームページに2022年10月から50回配信している手話講座「グッチの部屋」を担当し、またデフリンピック陸上競技スタッフとして3回出場した経験者で、デフリンピックに関する理解もすでにありました。館長からもご協力すると力強い話もありました。



掲示していただいたポスターなど